



国際深海科学掘削計画 (IODP) 乗船研究関連出張報告書

海洋研究開発機構 研究推進部/J-DESC サポート 御中

提出年月日：平成 26 年 8 月 19 日

氏名：廣瀬丈洋

所属 (職名)：(独) 海洋研究開発機構・高知コア研究所 (主任研究員)

申請の種類 (該当する項目のみ残す)	1st Post-expedition meeting
乗船航海名	Expedition 348 NanTroSEIZE Plate Boundary Deep Riser 3
出張期間 (移動も含む)	平成 26 年 8 月 10 日 ~ 平成 26 年 8 月 17 日
用務地 (国・都市)	アメリカ合衆国・テキサス州・カレッジステーション
乗船時の役割	Co-Chief Scientist
<u>本出張における成果</u> <p>米国テキサス A&amp;M 大学内にある IODP-USIO の会議室で 2014 年 8 月 11~15 日の 5 日間にわたって、Expedition 348 NanTroSEIZE (Plate Boundary Deep Riser 3) の 1st Postcruise Meeting がおこなわれ、国内からは、廣瀬丈洋・山本由弦 (JAMSTEC) と北島弘子 (AIST・現在 TEXAS A&amp;M 大学所属)、および EPM の Sean Toczko が参加した。会議では、研究航海成果をまとめた Proceedings の執筆・編集作業をおこなった。特に、本航海のまとめ図ともいえる、孔内物理計測結果と岩相、化石年代分布などをまとめた Composite diagram の作製に力を注いだ。会議の最後に、本航海の編集専門委員会 (Exp 348 Editorial Review Board) において今後の出版に向けたスケジュールについての打ち合わせをおこない、2014 年 9~10 月にゲラ刷りを Co-Chief Scientists と EPMs で校正して、2015 年 1 月 20 日の公表を目指すことを確認・合意をえた。USIO の Publication Staff の非常に手際よい編集作業に感嘆するとともに、今後とも IODP の成果報告書の編集・出版は一括しておこなう必要性を強く感じた。</p>	
備考	



国際深海科学掘削計画 (IODP) 乗船研究関連出張報告書

海洋研究開発機構 研究推進部/J-DESC サポート 御中

提出年月日： 平成 26年 8月 18日

氏名： 山本由弦

所属 (職名)： 海洋研究開発機構 数理科学・先端技術研究分野 主任研究員

申請の種類 (該当する項目のみ残す)	4. 1st Post-expedition meeting
乗船航海名	Exp. 348
出張期間 (移動も含む)	平成 26年 8月 10日 ~ 平成 26年 8月 17日
用務地 (国・都市)	Collage Station, United States
乗船時の役割	Structural Geologist (例 Sedimentologist)
本出張における成果 IODP の NanTroSEIZE 計画の一環として行われた Expedition 348 航海の 1st Post-expedition meeting に参加した。航海中にまとめられた Expedition report, Site report を校正，編集を行い，Preliminary Report としてまとめ上げた。この会議の最大の成果である Preliminary Report は，IODP の Publication サイトで公開された。	
備考	